

平成30年度 高寿会事業報告

理事長 高橋正昭

平成30年度社会福祉法人高寿会の業務の状況について御報告いたします。

(1) サービス付き高齢者向け住宅建設について

- ・平成31年2月28日、一部の工事を残し施工会社からほっこり家の引き渡しが行われました。県の検査も終わり3月には備品の搬入等を行い4月1日開所いたしました。今後入居者に住んで良かったと満足していただけるように経営努力を重ねて参ります。

(2) 法人の中、長期計画策定

- ・特養ホームの旧厨房及び医務室等の改修については平成30年度完了いたしました。また国の補助を利用した障がい者用のトイレ改修及び老朽化した浄化槽の市の下水道接続工事も完了いたしました。

平成31年度はナースコールと電話設備の更新をすすめてまいります。

今後も職員がより向上心を持って思う存分に力を発揮できる各施設、各事業に、そして施設入居者、在宅利用者に今以上の心やすらかな生活と心から満足していただけるサービスを提供できるよう、引続き中、長期計画を策定してまいります。

(3) 法人事業収支安定化（各事業の充実）

- ・平成30年度も引き続き、経費の節減及び収入の増を図り、その上で毎月の収支を分析しながら法人一体となり対応してきました。平成31年度はサービス付き高齢者向け住宅の経営が開始となりますので、これまで以上に各事業所の経営の安定化を目指して参ります。

(5) 職員キャリアアップ推進

- ・准看護師資格取得を目指して准看護学校へ就学していた職員が卒業し資格を取得しました。平成29年度に高等看護学校へ進学し、平成31年度には3年生に進級となりますので今年も支援をしております。又、介護、看護、調理員等各種職員を対象にした研修会等に数多く参加しています。資格取得としては、介護福祉士資格等の取得に向けて職員がチャレンジし、平成30年度も成果を上げております。

施設内研修では、新人職員研修、職種別施設内研修、職員全体研修等を実施しています。

(5) 新規職員の採用

- ・平成31年度も新卒高校生を2名採用しており6年連続となります。

メンター制度を活用し新職員の指導をきめ細かくしていくことにより、居心地の良い職場の構築を目指してまいります。

平成 30 年度 社会福祉法人高寿会決算報告について報告いたします
貸借対照表 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

資産の部		負債の部	
科目	当年度末	科目	当年度末
流動資産	685,623,681	流動負債	277,352,192
固定資産	1,663,502,231	固定負債	124,622,537
基本財産	906,107,498	負債の部合計	401,974,729
その他の固定資産	757,394,733	純資産の部	
		基本金	115,996,562
		国庫補助金等特別積立金	455,244,871
		その他の積立金	104,816,544
		次期繰越活動増減差額	1,271,093,206
		純資産の部合計	1,947,151,183
資産の部合計	2,349,125,912	負債及び純資産の部合計	2,349,125,912

事業活動計算書

(自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日)

勘定科目		当年度決算
サービス活動増減の部	収益	
	介護保険事業収益	731,327,511
	経常経費寄附金収益	4,695,453
	その他の収益	6,756,146
	サービス活動収益計(1)	742,779,110
	費用	
	人件費	564,036,327
	事業費	109,508,555
	事務費	48,753,916
	利用者負担軽減額	939,603
減価償却費	62,194,562	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△30,233,406	
サービス活動費用計(2)	755,199,557	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△12,420,447	
サービス活動外増減の部	収益	
	借入金利息補助金収益	469,518
	受取利息配当金収益	31,909
	その他のサービス活動外収益	473,000
	サービス活動外収益計(4)	974,467
	費用	
支払利息	690,000	
その他のサービス活動外費用	596,000	
サービス活動外費用計(5)	1,286,000	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△311,533	
形状増減差額(7)=(3)+(6)	△12,731,980	
特別増減の部	収益	
	施設整備等補助金収益	56,683,300
	固定資産受贈額	
	拠点区分間繰入金収益	78,046,742
	サービス区分間繰入金収益	237,895,102
	特別収益計(8)	372,625,144
	費用	
	固定資産売却損・処分損	5
	国庫補助金等特別積立金積立額	56,683,300
	拠点区分間繰入金費用	78,046,742
サービス区分間繰入金費用	237,895,102	
特別費用計(9)	372,625,149	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△5	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△12,731,985	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,143,825,191
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,131,093,206
	基本金取崩額(14)	
	その他の積立金取崩額(15)	140,000,000
	その他の積立金積立額(16)	
	時期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,271,093,206

資金収支計算書

(自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日)

勘定科目		決算
事業活動による収支	収入	
	介護保険事業収入	731,327,511
	借入金利息補助金収入	469,518
	経常経費寄附金収入	4,695,453
	受取利息配当金収入	31,949
	その他の収入	131,173,640
	事業活動収入計(1)	749,698,071
	支出	
	人件費支出	571,790,702
	事業費支出	109,508,555
事務費支出	48,753,916	
利用者負担軽減額	939,603	
支払利息支出	690,000	
その他の支出	596,000	
事業活動支出計(2)	732,278,776	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	17,419,295	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等補助金収入	56,683,300
	固定資産売却収入	10,860
	施設整備等収入計(4)	56,694,160
	支出	
	設備資金借入金元金償還支出	11,500,000
	固定資産取得支出	356,222,812
	ファイナンス・リース債務の返済支出	1,884,384
	施設整備等支出計(5)	369,607,196
	施設整備等資金収入差額(6)=(4)-(5)	△312,913,036
その他の活動による収支	収入	
	積立金資産取崩収入	140,000,000
	拠点区分間繰入金収入	64,500,000
	サービス区分間繰入金収入	234,280,000
	その他の活動による収入	619,080
	その他の活動収入計(7)	439,399,080
	支出	
	拠点区分間繰入金支出	64,500,000
	サービス区分間繰入金支出	234,280,000
	その他の活動による収入	2,906,430
その他の活動支出計(8)	301,686,430	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	137,712,650	
予備費支出(10)		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△157,781,091	
当期末支払資金残高(12)	607,539,018	
当期末支払資金残高(11)+(12)	449,757,927	